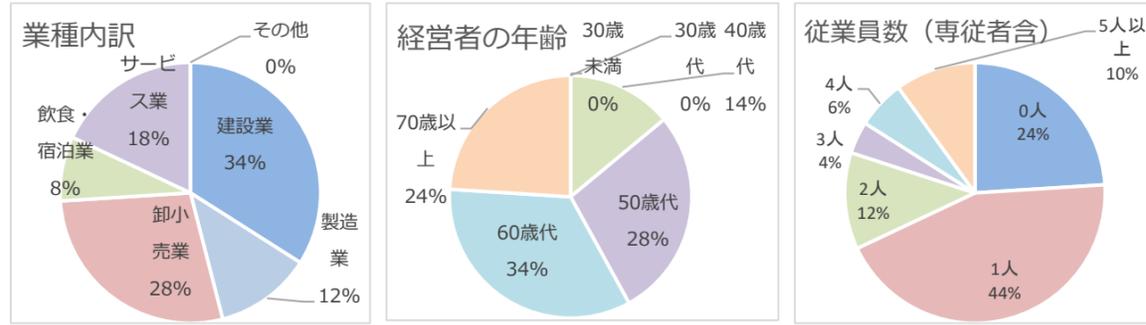


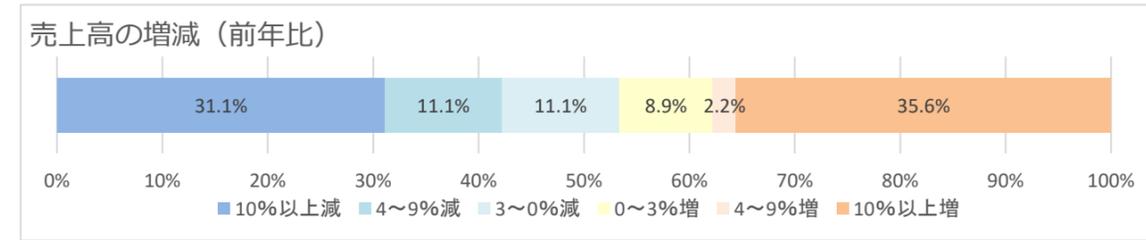
# 西方商工会管内 景気動向調査報告書 【調査実施期間：2021年4～5月】

## ■回答者の属性



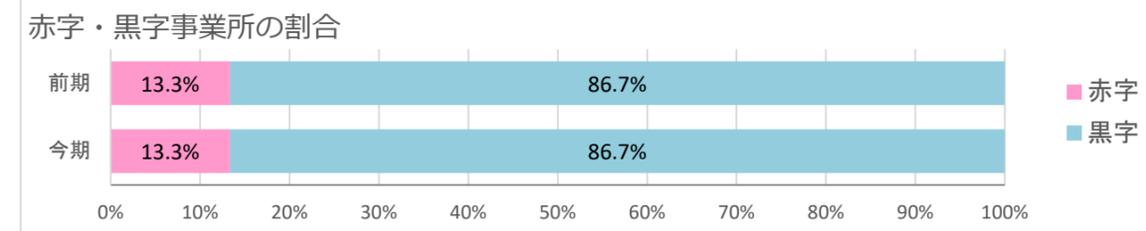
2021年1月～3月にかけて税務申告支援を行った50事業所（建設業17、製造業6、卸小売業13、飲食・宿泊業4、サービス業10、その他0）に対し調査を行った。なお、売上高の増減、赤字・黒字の割合、所得金額の増減は、45事業所（法人5・個人40）について集計し分析した。

## ■売上高の増減



調査45事業所のうち、昨年に比べ売上が減少した事業所が24に対し、増加が21とほぼ拮抗しているものの半数を超える53.3%の事業所が減少し、10%以上減少した事業所は31.1%あった。一方で、10%以上増加した事業所は35.6%あり両極化を示した。

## ■赤字・黒字の割合



個人事業者が40事業所で約9割を占めていることもあり、赤字事業所が6（13.3%）、黒字事業所が39（86.7%）であった。また、赤字・黒字の割合に変動はなかった。

## ■所得金額の増減



売上金額が増加した事業所は46.7%だったものの、所得金額が増加した事業所は53.3%となった。新型コロナウイルス感染症対策事業による給付金、補助金、および協力金等の給付が所得の増加に寄与したものと思われる。

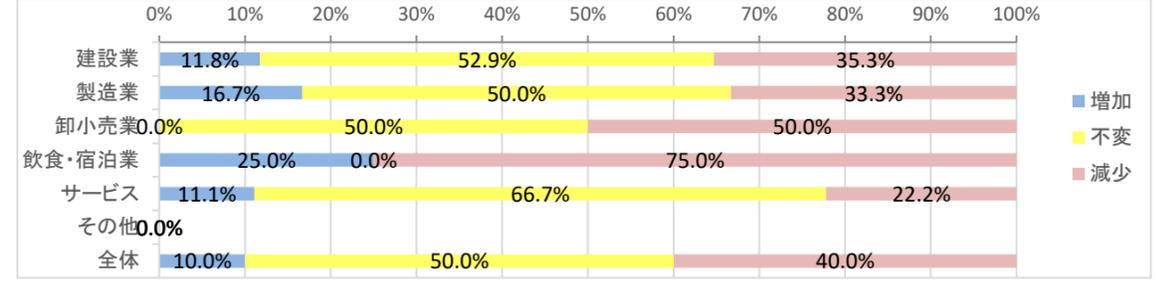
## ■最近の経営上の問題点

第1位	売上減少	30
第2位	その他	13
第3位	仕入価格の上昇	12

※ 第3位の項目は、他に1項目あります。

6割の事業所が『売上減少』を最近の経営上の問題の第1位に挙げており、新型コロナ要因が経営を圧迫していることが窺える。第3位の項目は他に『需要の停滞』も挙げられている。

## ■今後（4～8月）の売上高の見込みについて



今後（4～8月）の売上高については、全体の40%が減少を見込んでおり、増加予想は10%にとどまっている。業種別にみると、飲食・宿泊業の75%、卸小売業の50%が売上減少と回答しており、今後の経営課題として、販路開拓、接客（営業）力の向上および諸経費の削減の認識につながっている。

## ■今後の経営課題について

第1位	販路開拓	14
第1位	その他	14
第3位	接客（営業）力の向上	11

※ 第3位の項目は、他に1項目あります。

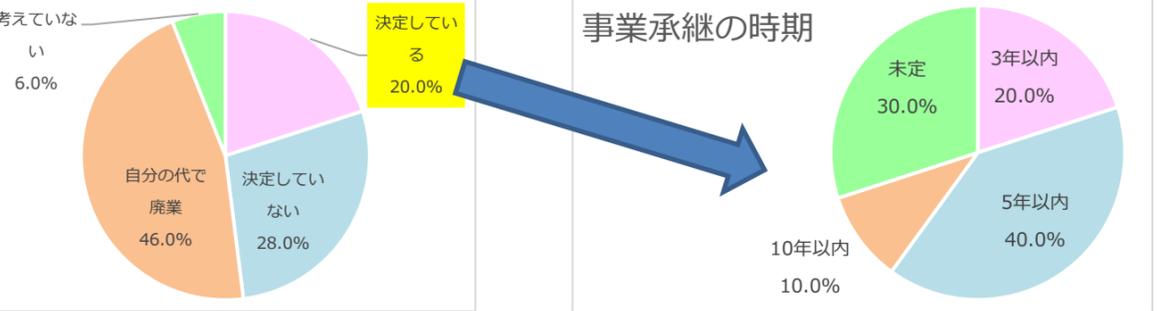
『販路開拓』及び『その他』が今後の経営課題として第1位に挙げられている。第3位は他に『諸経費の削減』が挙げられている。

## ■経営課題解決に向けた支援策について

第1位	補助金・助成金の申請	31
第2位	その他	15
第3位	事業承継支援	7

今後の経営課題の解決に向けた商工会の支援策では、62%の事業所が『補助金・助成金の申請』を挙げ第1位となっている。第3位の『事業承継支援』の外、第4位には『各種経営セミナー』および『事業資金の低利融資』が1ポイント差で続き幅広い支援が求められている。

## ■後継者について



後継者について調査対象50事業所のうち、承継時期が決定しているのは10社（20%）にすぎず、今後事業承継の支援策推進が必要である。また後継者が決定しているが承継時期未定の事業所も3割あり、事業承継計画策定が急務である。一方で、『自分の代で廃業』が23社（46%）もあり、M&Aや第二